

# 会 の 沿 革

2021(令和03)年10月1日  
公益財団法人沖縄県平和祈念財団

【凡例】●は人事に関する事

1957年(昭和32年)

- 10月16日 沖縄市町村会の設立支援により靖国神社奉賛会沖縄地方本部として発足  
 ●会長与儀達敏、副会長山城篤男・吉元栄真、常務理事仲田彦栄その他理事15名選任
- 12月1日 仮事務所を那覇市波の上通りに設置

1958年(昭和33年)

- 1月22日 事務所を那覇市久茂地町1-46 沖縄火災ビル3階に移転  
 4月1日 ●会長安里積千代選任  
 12月15日 琉球政府社会局から靈域管理事業計画書の提出を命ぜられる

1959年(昭和34年)

- 12月23日 評議員会において靈域統一管理及び慰靈顕彰事業を始め遺族慰籍を目的として、  
 靖国神社奉賛会沖縄地方本部を発展的に解消し、「沖縄戦没者慰靈奉賛会」と改称することを決議

1960年(昭和35年)

- 2月24日 財団法人沖縄戦没者慰靈奉賛会の創立総会を開催  
 ●発起人山城篤男、会長に安里積千代、副会長山城篤男・具志堅宗精・大山朝常、  
 常務理事仲田彦栄ほか理事26名、監事3名を選任
- 5月28日 琉球政府に財団法人設立許可申請書を提出
- 6月27日 琉球政府行政主席から財団法人沖縄戦没者慰靈奉賛会の設立認可(琉球政府指令  
 社第115号)下りる  
 事務所を那覇市通堂町3丁目44番地に移転
- 12月1日 ●役員の一部異動に伴い会長大田政作、副会長に長嶺秋夫就任

1961年(昭和36年)

- 3月2日 灵域管理規定(案)の検討、「戦没者慰靈の日」の制定陳情を本会がとりまとめて提出することを決議する
- 9月24日 他府県慰靈塔建立問題について(建立までは遺族会が世話をすること、除幕式終了後は本会が清掃管理を担任することを申し合わせる)

1962年(昭和37年)

1963年(昭和38年)

1964年(昭和39年)

- 7月1日 南方同胞援護会から助成金交付が決まる—指定靈域43か所とする  
●任期満了に伴い、役員改選に伴い会長松岡政保、副会長具志堅宗精・山城篤男・長嶺秋夫、常務理事仲田彦栄選任

1965年(昭和40年)1966年(昭和41年)

- 7月15日 事務所を糸満町字摩文仁20番地に移転

1967年(昭和42年)1968年(昭和43年)

- 7月1日 ●任期満了に伴い、役員改選に伴い会長長嶺秋夫、副会長具志堅宗精・新垣安助、常務理事仲田彦栄選任

1971年(昭和46年)

- 2月4日 事務所を糸満町字摩文仁577番地に移転(県による新築)

1972年(昭和47年)

- 5月15日 沖縄の祖国復帰に伴い、会の名称を財団法人沖縄県戦没者慰靈奉賛会と改称

1974年(昭和49年)

- 3月12日 沖縄県知事が厚生省援護局長及び各都道府県主管部長あて「沖縄県にある各都道府県の慰靈塔の清掃管理について」の依頼文を送付、当会への清掃管理を正式な委託契約で実施するよう依頼する  
4月1日 ●任期満了に伴い、会長屋良朝苗、副会長大田金造(常務理事兼任)、外理事9名選任

1975年(昭和50年)

- 4月1日 各都道府県慰靈塔の清掃管理受託事業開始する  
6月18日 摩文仁靈域の慰靈塔落書き事件発生、除去対策に県補助金200万円追加交付

1976年(昭和51年)

- 4月1日 ●任期満了に伴い会長新垣茂治、副会長平安常実、常務理事福里広徳、外理事12名選任

1977年(昭和52年)1978年(昭和53年)

- 4月1日 ●任期満了に伴い会長・副会長(留任)、常務理事上原剛、外理事11名選任

1979年(昭和54年)

1980年(昭和55年)

4月1日 ●任期満了に伴い会長大田昌知、副会長新垣雄久、外理事12名選任

1981年(昭和56年)

1982年(昭和57年)

4月1日 ●任期満了に伴い会長大田昌知(留任)、副会長平良正夫、外理事12名選任、常務理事宮城正廣留任

1983年(昭和58年)

1984年(昭和59年)

4月1日 ●任期満了に伴い会長大田昌知(留任)、副会長平良正夫(留任)、常務理事宮城正廣、外理事11名選任

9月16日 ●役員の一部改選会長志村恵、副会長金城祐俊選任

1985年(昭和60年)

1月16日 奉賛会事務所の改築工事(竣工・翌年2月16日／発注者・沖縄県)

1986年(昭和61年)

2月23日 「第1回県民遺骨収集」を沖縄県と共に催す(県民ボランティア5千人参加)

4月1日 ●任期満了に伴い会長志村恵(留任)、副会長金城祐俊(留任)、常務理事宮城正廣(留任)外理事11名選任

1987年(昭和62年)

1988年(昭和63年)

8月17日 ●役員の一部改選に伴い会長平良一男選任

1989年(平成元年)

3月22日 記念誌『平成一沖縄県戦没者慰靈奉賛会30年のあゆみ』刊行(500部)

1990年(平成2年)

3月12日 ●役員改選に伴い会長に平良一男

1991年(平成3年)

1992年(平成4年)

3月13日 ●任期満了に伴い会長に平良一男、副会長に大城清吉、常務理事に知念勇が互選

1993年(平成5年)

12月17日 ●会長辞任に伴い会長儀間光男が会長に選任された

1994年(平成6年)

7月23日 ●議会及び県の人事異動に伴い会長に嘉数知賢、副会長に安里和子が選定された

1995年(平成7年)

1996年(平成8年)

7月26日 ●理事辞任に伴い会長友寄信助が選定された

1997年(平成9年)

1998年(平成10年)

1999年(平成11年)

5月21日 ●任期満了に伴い理事を改選、全理事留任

2000年(平成12年)

7月31日 ●会長及び理事辞任に伴い会長に伊良皆高吉が選任された

2001年(平成13年)

3月21日 ●任期満了に伴い理事を改選、全理事留任

2002年(平成14年)

2003年(平成15年)

3月25日 ●任期満了に伴い理事を改選会長に新垣雄久、副会長に新垣幸子、常務理事に大城幸進

2004年(平成16年)

5月25日 ●県の人事異動に伴い理事を一部改選。常務理事に上原兼治事務局長を選任

2005年(平成17年)

5月1日 太平洋戦争終結60周年の節目の慰靈事業として第1回「こどもの日慰靈塔・碑鯉のぼり掲揚事業」を主催

2006年(平成18年)

2月23日 慰靈と平和発信のためラン植裁事業を主催

4月1日 「平和の礎」指定管理者協定による管理を開始

「平和祈念公園」指定管理者協定による管理を開始

7月1日 「財団法人沖縄県戦没者慰靈奉賛会」を「財団法人沖縄県平和祈念財団」に改称

10月1日 沖縄県立芸術大学開学20周年を記念して「平和祈念公園芸術祭」を開催(主催:沖縄県立芸術大学、(財)沖縄県平和祈念財団)

2007年(平成19年)

- 3月22日 ●任期満了に伴い会長に新垣雄久、副会長に喜友名朝春、常務理事に上原兼治が選任
- 6月 19日 平和祈念資料館から館内ミュージアムショップの管理運営

2008年(平成20年)2009年(平成21年)

- 3月27日 ●任期満了に伴い会長に新垣雄久を互選
- 5月29日 ●会長に新垣雄久、副会長に大城藤六理事、常務理事に与那覇博一理事が選任
- 12月20日 魅力ある公園づくりと平和文化の創造に寄与するため花と灯りのファンタジーIN 平和祈念公園事業を開催

2010年(平成22年)2011年(平成23年)

- 3月25日 ●任期満了に伴い会長に新垣雄久、常務理事に上原兼治土木企画統括監を選任
- 6月 1日 事務所位置を摩文仁 577 番地から同 444 番地へ移転
- 8月14日 第1回平和祈念公園旧盆エイサー奉納事業を共催(糸満市喜屋武青年会)
- 10月 2日 第1回重陽の節句凧上げ行事を共催(カーチーベー凧の会、平和祈念資料館)
- 11月30日 沖縄県知事あて、慰靈塔・碑の今後のあり方や取り扱いにかかる考え方・方針等についての要望書(沖平財第255号)を提出

2012年(平成24年)

- 6月 8日 沖縄県議会議長あて、沖縄戦戦没者慰靈塔・碑の管理に関する陳情(沖平財第87号)を提出
- 6月22日 沖縄全戦没者追悼式前夜祭「祈りの摩文仁、平和の灯火と平和の光の柱(第1回)」を主催
- 7月 3日 第1回平和祈念公園の七夕行事を主催
- 7月17日 「平和祈念公園スマートパーク化事業」受託
- 10月 25日 理事会において、平成25年4月1日の公益財団移行後の最初の理事、監事、代表理事・執行理事の選定について決議
- 12月16日 第1回平和の光の柱開催(いとまんピースフルイルミネーション&平和の光の柱)～2018(平成30)年度で糸満市委託終了

2013年(平成25年)

- 1月 1日 第1回新春初日の出 in 平和祈念公園を主催
- 3月 21日 EVバス(初)出発式「平和祈念公園スマートパーク化事業」の一環
- 3月 19日 公益財団法人への移行認定書(処分)受領
- 3月 25日 新公益法人移行登記申請

# ..... 公益財団法人移行 新体制スタート .....

## 2013年(平成25年)

- 4月1日 公益財団法人沖縄県平和祈念財団スタート
- 6月22日 沖縄全戦没者追悼式前夜祭第2回「祈りの摩文仁、平和の灯火と平和の光の柱トライアングル」を第1回座間味村、読谷村、糸満市の連携事業として開催(～3市村連携は2015(平成27)年度で終了)

## 2014年(平成26年)

## 2015年(平成27年)

- 4月11日 ヒマワリ畠の迷路オープン式(市販のヒマワリの種による)
- 5月22日 ●理事会において任期満了に伴い代表理事(会長)新垣雄久及び常務理事上原兼治を互選(留任)

## 2016年(平成28年)

- 3月11日 第1回ヒマワリ畠の迷路オープン式を開催(福島県から寄贈を受けた種による)

## 2017年(平成29年)

- 5月30日 ●理事会において任期満了に伴い代表理事(会長)新垣雄久及び常務理事上原兼治を互選(留任)

## 2018年(平成30年)

## 2019年(平成31年・令和元年)

- 5月30日 ●理事会において任期満了に伴い代表理事(会長)新垣雄久及び常務理事上原兼治を互選(留任)

## 2020(令和02年)

- 3月 世界的に流行しつつある新型コロナウィルス感染症拡大の影響により入園者数減少、収益の落ち込みが表れ始める

## 2021(令和03年)

- 4月1日 ●理事会において常務理事上原兼治の退職に伴い、監事の松川満を常務理事兼事務局長、後任の監事に新垣悦男を選任
- 5月31日 ●評議員会において新垣幸子理事、又吉全盛理事の退任(任期満了)を承認  
●同評議員会において他の理事、評議員、監事及び常務理事の互選
- 7月19日 ●評議員会において、理事金城秀雄を選任(8月1日就任)
- 7月20日 ●理事会において副会長(代表理事)に理事の金城克也を選任
- 7月21日 ●新垣会長死去により会長を退任

9月24日 ●理事会において会長に金城克也、副会長に仲田秀光を選任(10月1日就任)

2022(令和04年)

3月30日 ●評議員会において、理事新城妙子を選任(4月1日就任))

2023(令和05年)

6月9日 ●理事会において任期満了に伴い代表理事(会長)金城克也、副会長に仲田秀光及び常務理事に松川満を互選(留任)

8月15日 ●評議員会において、宮城篤正評議員の辞任に伴い、後任の評議員に我部政寿を選任

●同評議員会において、理事平田徳明を選任

2024(令和06年)

6月10日 ●嘉数昇明評議員一身上の都合により退任

2025(令和07年)

6月12日 ●評議員会において任期満了に伴い評議員(5名)、理事(8名)及び監事(2名)の選任  
●同評議員会において照屋寛評議員の退任(任期満了)を承認  
●同評議員会において評議員長(伊佐嘉一郎)の選定  
●理事会において任期満了に伴い代表理事(会長)金城克也、副会長に仲田秀光及び常務理事兼事務局長に松川満を互選(留任)

7月24日 ●評議員会において評議員上間優、評議員山入端美智子を選任